

普及活動情勢報告（令和3年4月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

新たな農業クラスタープランが始動 ～くろしおミヨウガ生産拡大プロジェクト調印式～



調印式の様子

3月17日、JA土佐くろしおで須崎市・中土佐町・津野町の首長の他、JA土佐くろしお組合長、茗荷部会長、㈱Eーシステム代表が出席して農業クラスタープラン「くろしおミョウガ生産拡大プロジェクト」の調印式が開催されました。

このプロジェクトは、ミョウガの生産拡大や、使用済み培地の有効活用等に取り組めますが、当課がコーディネーター役となり、プラン作成に向けて話し合いを進めてきました。

今後、このプロジェクトの目標達成にむけて取り組みを支援していきます。

データ駆動型農業への第一歩へ！ ～I o Pクラウド（SAWACHI）教室～



IoP クラウド(SAWACHI) の説明を聞く生産者

3月18日と25日、JA土佐くろしお本所でI o Pクラウドの操作説明会が開催され、実証農家23戸が参加しました。

I o Pクラウドは、ハウス環境や重油使用量、出荷量等の見える化が可能となり、当課はJ Aと協力し、当日までに説明会の案内やクラウド利用規約の説明と利用申込書・同意書の記入依頼を行いました。

参加者から「早くカメラで作物の生育を見たい」「スマホでどんどんチェックしたい」といった反応があり、SAWACHIへの期待の高さがうかがえました。

今後も関係機関と連携しながら現地実証を重ね、SAWACHIが生産者にとってより良いサービスとなるよう支援していきます。

令和2年度の締めくくり ～津野山ミョウガ部会総会～



総会の様子

3月30日、津野山営農経済センター2階会議室で津野山ミョウガ部会総会が開催され、生産者15戸が出席しました。JAからは令和2年度の出荷実績報告と、各生産者の成績表が配布されました。また、当課からは、3月までの生育調査結果の報告と養液分析の考察について説明しました。

生産者からは、「分析結果の考察は参考になった」との意見が聞かれました。

当課は、今後も現地検討会等を通じて指導を行い、津野山ミョウガ生産者の所得向上につなげていきます。

新年度に向けて ～おおのみエコロジーファーマーズ～



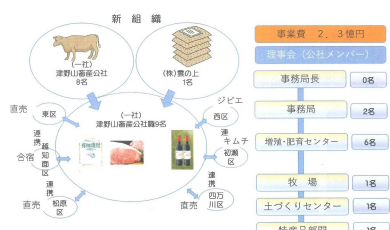
リモート会議風景

3月25日、中土佐町役場会議室で、おおのみエコロジーファーマーズ（以下、おおのみEF）と高知県立大学（コメリッシュ）がリモートでの打ち合わせを行い、生産者3人、大学生2人、その他関係者が出席しました。

打ち合わせでは、R3年度の活動計画の確認と意見交換が行われました。大学生から、中土佐町産の食材でお弁当を作り、イベント等で販売したいと提案があり、おおのみEFも食材集めで協力することになりました。当課は、活動計画の内容や、両者の理解がより深くなるような意見交換会の進め方などアドバイスしました。

今後もおおのみEFの活動を支援し、大野見米のブランド化など、地域の活性化を支援していきます。

（一社）津野山畜産公社が、新たな中山間農業複合経営拠点に！ ～令和2年度の活動～



新たな構想

3月30日、（一社）津野山畜産公社の理事会が開催され、中山間農業複合経営拠点として取り組むことが決まりました。

当課は、令和元年度から令和2年度にかけて、アグリ事業戦略サポートセンターを活用して、拠点構想の検討を梶原町と連携して支援してきました。

今後、公社の事業計画達成にむけて、ぶどう栽培（ワイン）事業等の支援をしていきます。

篤農家の技術を学ぼう ～津野山ミョウガ部会現地講習会～



ハウス外で説明を聞く生産者

4月8日、津野町葉山地区の篤農家ほ場で現地講習会が開催され、生産者15戸が参加しました。

当課から、今作の津野山地域のミョウガの生育傾向と管理について情報提供を行いました。生産者からは、夜温の管理方法について「変夜温管理は前夜温を何℃程度にしたら良い？」などの質問がありました。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策として、ハウス外で資料説明する班、ハウス内で篤農家との情報交換を行う班に分かれて講習会を実施しました。

今後も新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら現地講習会や個別指導を開催し、生産者の所得向上につなげていきます。

令和の結いで、ふるさとの水田を守る！ ～おちめん営農組合総会の開催～



総会の様子

4月15日、おちめん営農組合総会が開催され、関係機関を含め35名が出席しました。

総会では、令和2年度事業報告および令和3年度事業計画などが協議されました。また、「営農組合が水田を守るために」をテーマに組合員等から「集落の現状把握をしていき、継続的に話し合っていく必要がある」といった意見がありました。それを受けて、今後集落の現状把握と、継続的に話し合っていくこととなりました。

当課は、組合での今後の話し合いの機会に参画し、他地域の取り組みなどを情報提供し、営農組合の活動をサポートしていきます。